

# 外国人建設就労者受入事業の運用見直し

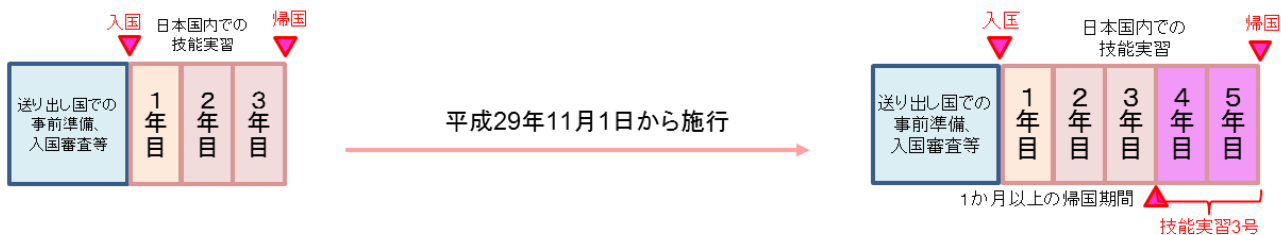
- 外国人建設就労者受入事業において、2020年度までに就労を開始した者であって現行の運用上認められる活動期間を満了していない者については、2021年度以降にわたる就労を可能とする(ただし、最長でも2022年度末まで)。

※2021年度及び2022年度の新たな外国人建設就労者の入国は認めない扱い。

- 技能実習3号後の外国人建設就労者への移行を認める。

※本国への技能移転を図る観点や本国との関係を維持する観点から、一定の帰国期間を設ける。

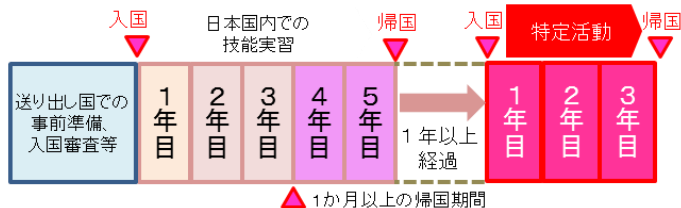
## 技能実習制度



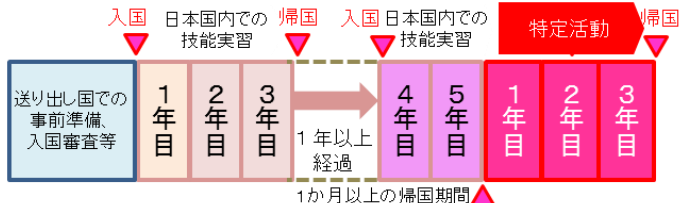
## 外国人建設就労者受入事業の運用見直し

### ■ 技能実習3号から特定活動へ移行する例

- ・ 特定活動の前に1年以上、帰国するケース

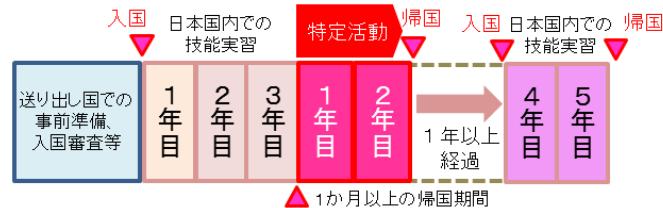


- ・ 技能実習3号の前に1年以上、帰国するケース

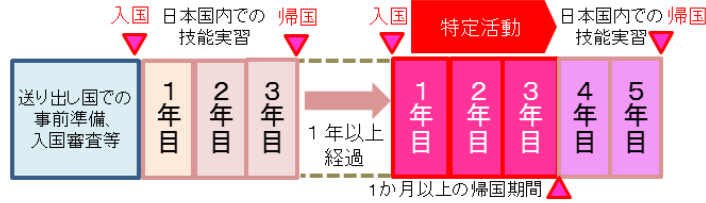


### ■ 特定活動から技能実習3号へ移行する例

- ・ 技能実習3号の前に1年以上、帰国するケース



- ・ 特定活動の前に1年以上、帰国するケース



(※ 本国への技能移転を図る観点や本国との関係を維持する観点から、移行パターンに応じて、1年以上又は1月以上の出国期間を設ける。)